

令和6年度
こども文化クラブ事業実施報告書

NPO法人 鶴岡市芸術文化協会

令和6年度こども文化クラブ事業実施報告書

1. 実施概要

鶴岡市総合型文化クラブ事業補助を受け、市内7地区の放課後子ども教室と連携し、鶴岡市芸術文化協会の会員が講師となり、短歌、俳句、和紙ちぎり絵、油絵、造形、ステンドグラス、尺八、文化箏、合唱、フラダンス、演劇、ミュージカル、茶道、華道などの芸術文化活動を子どもたちが体験する機会を設けた。また、鶴岡市中央公民館と共催で、市内小学生児童を対象とした体験教室（ステンドグラス・華道）を開催した。

2. 実施分野

| 部門 | 分野 | 講師団体 |
|----|---------|-----------------------------------|
| 文芸 | 短歌 | 稲京短歌会 |
| 美術 | 絵画 | 白甕社 |
| | 造形 | |
| | 和紙ちぎり絵 | 鶴岡和紙ちぎり絵サークル |
| | ステンドグラス | ステンドグラス“光彩” |
| 邦楽 | 文化箏 | 山形県大正琴・文化箏愛好会 |
| | 尺八 | 荘内竹道会 |
| 洋楽 | 合唱 | 鶴岡土曜会混声合唱団 |
| 洋舞 | フラダンス | ハウオリフラスタジオ |
| 演劇 | ミュージカル | 出羽庄内市民ミュージカル若手塾 |
| 茶道 | 茶道 | 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区・遠州流茶道山形支部 |
| 華道 | 華道 | 古流松應会庄内支部・小原流鶴岡支部 草月会山形県支部鶴岡地区 |

3. 実施会場

- 中央公民館 (市内小学校児童対象の教室)
- 上郷コミュニティセンター (上郷地区放課後子ども教室)
- 三瀬コミュニティセンター (豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室)
- 由良コミュニティセンター (豊浦地区(由良)放課後子ども教室)
- 湯野浜コミュニティセンター (湯野浜小学校放課後子ども教室)
- 大山コミュニティセンター (おおやま放課後子ども教室)
- 西郷地区農林活性化センター (西郷地区放課後子ども教室)
- 鼠ヶ関小学校 (ねずがせき放課後子ども教室)

4. 実施期間

令和6年6月から令和7年2月まで

5. 実施回数等

| 会場 | 開催数 | 参加人数 | 分野 |
|------------------|-----|------|----------------------------|
| 中央公民館 | 4 | 33 | 和紙ちぎり絵・文化箏 |
| 上郷地区放課後子ども教室 | 9 | 110 | ステンドグラス・文化箏・尺八・茶道 |
| 豊浦地区（三瀬）放課後子ども教室 | 7 | 78 | ステンドグラス・文化箏・茶道・華道 |
| 豊浦地区（由良）放課後子ども教室 | 10 | 100 | ステンドグラス・文化箏・フラダンス・ミュージカル |
| 湯野浜小学校放課後子ども教室 | 8 | 173 | 短歌・造形・和紙ちぎり絵・ステンドグラス・茶道・華道 |
| おおやま放課後子ども教室 | 5 | 94 | 短歌・茶道・華道 |
| 西郷地区放課後子ども教室 | 4 | 126 | 絵画・ステンドグラス・茶道 |
| ねずがせき放課後子ども教室 | 7 | 92 | 和紙ちぎり絵・合唱・茶道・華道 |
| 合計 | 54 | 806 | 12 分野 |

6. 実施状況写真



短歌

(稲京短歌会)



絵画

(白甕社)



造形

(白甕社)



和紙ちぎり絵

(鶴岡和紙ちぎり絵サークル)



ステンドグラス

(ステンドグラス“光彩”)



文化箏

(山形県大正琴・文化箏愛好会)



尺八

(荘内竹道会)



合唱

(鶴岡土曜会混声合唱団)



フラダンス

(ハウオリフラスタジオ)



ミュージカル

(出羽庄内市民ミュージカル若手塾)



茶道

(裏千家淡交会)



華道

(小原流鶴岡支部)

7. 事業費

(収入) 市補助金 800,000円

計 800,000円

(支出) 講師等謝金 433,000円

旅費交通費 75,401円

通信運搬費 5,680円

消耗品費 228,782円

貸借料 57,000円

雑費 6,050円

計 805,913円

▲5,913円 (芸文協負担)

※参加児童の費用負担はなし

8. 子ども・関係者の声

(1) 子ども達の感想

【中央公民館】

(スタンドグラス) 京田小 1年 渋谷 優芽 (しぶや ゆめ) (芸文だより一部掲載)

初めてスタンドグラスを見て、さわって楽しかった。色ガラスがどれもきれいで絵ができあがっていくのがわくわくした。ハンダも初めてで溶けていって、くつついて、かたまってドキドキして楽しかった。かわいいのが二つもできて嬉しい。先生たちも優しくかった。またやってみたい。家の玄関にかざったら、お客さんが皆ほめてくれて嬉しいです。ありがとうございます。

(スタンドグラス) 朝陽四小 1年 さとう ひかり

わたしは、さんかして、がらすをくつつけたところがむずかしかったけど、たのしかったよ。おうちにかざったらとってもとってもきれいだったよ。とりもかざったらとってもとってもすてきだったよ。またがらすでなにかつくってみたいな。

(スタンドグラス) 朝陽六小 2年 五十嵐 さえ

自分の絵にあわせてガラスをはるのはむずかしかったけど、すてきな作品ができました。こたりのスタンドグラスも、えきをぬったり、とかしたりするのがむずかしかったです。でも、がらばってかわいいこたりができました。またやりたいです。ありがとうございます。

(スタンドグラス) 朝陽二小 3年 あべ はる日

今回初めてのこたりのパネルと色ガラスをしました。色ガラスは少しむずかしかったけどきれいな色がたくさんあって楽しかったです。こたりのパネルは、ハンダ付けが少しむずかしかったけどパネルをつけるのが楽しくてかわいい作品ができてよかったです。

(スタンドグラス) 朝陽五小 3年 鈴木 ゆかり

色ガラスの鳥を作りました。ハンダごてを使ってハンダをとかしてガラスにつけるのが、さいしょはむずかしいと思ったけどやりつづけたらかんたんでした。目だまを作るときは、ハンダがあまりくつつかなくてむずかしかったです。また作りたいたです。

(スタンドグラス) 藤島小 3年 さいとう あさき

ぼくは、大すきなゲームのだいめいのスタンドグラスを作りました。色んな形のガラスを合わせてはめるのが、むずかしかったけど、ちょうどいいのが見つかるようになりました。

鳥のパネル作りでは、はんだごてを使ってみました。さいしょは、あついからこわかったけど、なれたらくつつけるのが楽しかったです。うまくはめられて、ガラスがきれいで上手にできたと思いました。

(スタンドグラス) 朝陽五小 4年 後藤 結人

私は、大好きなカブトムシの絵をスタンドグラスの下絵に書きました。しかし、先生にカブトムシだとスタンドグラスにするには難しいと言われました。どうしても、カブトムシをスタンドグラスにしたいと思いがんばって細かいガラスでつのを形作り、目を緑色にして、先生や大人の人に手伝ってもらい、かっこいいカブトムシのスタンドグラスができました。キラキラとカブトムシが輝いて見えてうれしかったです。

(ステンドグラス) 朝暘三小 5年 きむら あおい

わたしは、この活動をして楽しかったです。ガラスは、太陽などの光にあてると、とてもきれいに光りました。一回目では自分でえらんだ好きな色をはりつけて、とうめいみたいな物と白みたいな物がありました。二回目では小鳥のハンギングをして、小鳥のハンギングも光にすけてきれいにできました。きれいにできてうれしかったです。

(ステンドグラス) 朝暘二小 6年 阿部 結月

今回の「色ガラスできれいな額絵と小鳥のパネルをつくろう」では、自分のかいた絵にカラフルな色ガラスから好きなガラスをはって作る事ができました。四つ葉のクローバーの葉は、すけるみどりとすけないみどりで色を分けて作り、いろんな形のガラスをパズルのようすきまをできるだけうめられるかたくさん考えて作りしました。ハートの形をガラスで作るのはとてもむずかしかったけどとても楽しかったし、すてきな作品が作れてよかったです。

(ステンドグラス) 朝暘五小 6年 鈴木 めぐみ

色ガラスで鳥を作る体験はとても面白かったです。色ガラスをハンダごてでつなぐのは簡単でしたが、鳥の目を作るのが難しかったです。左右で目の高さを同じくらいに作るのが難しかったです。

色ガラスで作った鳥は日の光の中できれいでした。これからは色ガラスで作った鳥を大切にしていきたいと思っています。

(ステンドグラス) 京田小 6年 渋谷 優花

初めて、ステンドグラスを見て、さわって楽しかった。色ガラスを使ってきれいなものを作れたので、うれしかったです。

私は、ハンダで作るのは、初めてでした。きれいに作れたので、よかったです。

(いけばな) 朝暘一小 3年 柿崎 史佳 (芸文だより一部掲載)

花をななめにいけたり、角度を考えて花を当ててみたりして、六月も七月もうまくいけることができてよかったです。先生は同じ教え方をしているのに、みんなそれぞれちがう作品が出来上がっていたので、すてきだなと思いました。夏休みに家でもいけてみたいと思うほど楽しかったので、また、来年行けたらいいなと思います。家にかざると、みんなからほめてもらえてうれしかったです。

(いけばな) 朝暘一小 3年 なんば にこ

8年生きてきてはじめてのいけばな体けんでした。先生がたくさんいてやさしく教えてもらえました。花は、土で育てるか花びんにかざるだけだと思っていたけど「いける」があることを知りました。いける位置にくきをおったり切ったりしてアレンジし葉っぱもカールさせるなどいろいろな技を学びました。見る角度によってちがう見え方になるのはふしぎでした。とても楽しいいけばなでした。

(いけばな) 朝暘六小 6年 飯澤 唯

わたしは、生け花を体験しました。最初はどれから生けるのか、どの位置にさすのかなど、よく分かりませんでした。でも先生たちがここにさしたらかっこ良く見えると教えてくれて、二回目では、自分で少し考えながら生けることができました。

私は花が好きだったので生け花もすごく楽しかったです。もし次に生け花をするときは、今回学んだことを思い出して、すてきに生けられるようにしたいです。

【上郷地区放課後子ども教室】

(ステンドグラス) 上郷小 6年 本間 琉椰

ぼくがステンドグラス教室をしたいと思ったきっかけは、ラーメン屋でライトのかさにステンドグラスが使われていて、きれいだなあと思ったからです。ステンドグラス教室に参加していざ作るとむずかしかったけど、楽しかったです。

(ステンドグラス) 上郷小 6年 佐藤 莉桜

いろいろな色のガラスのはへんをつかってねこを作りました。耳とはいけいをつくるのがむずかしかったです。地の色とか細かい作業とかがむずかしかったです。さいしょはうまくできる感じがしなかったけど、そのあとだんだんなれてきて、うまく作れました。また、こんど作りたいです。こんどは、カボチャとオバケを作りたいです。

(文化箏) 上郷小 3年 石塚 想乃 (芸文だより一部掲載)

わたしは、文化こと教室を二年続けて体験しました。文化ことをやってみて、上手にひけるようになったし、先生がやさしく教えてくれて楽しかったです。習った曲の中で一番好きな曲は「海」です。理由は、わたしが夏生まれで海が大好きだからです。海を想ぞうしながらひくと、気分がよくなっていやなこともわすれられます。文化ことがとても楽しかったので、四年生になっても文化ことをやりたいです。

(文化箏) 上郷小 4年 本間 ひなた

わたしは二年生のころに文化箏教室に入りました。その時は大変なのかな、と思ったけれど、やってみるととても楽しかったし、発表前の練習の時にいのこりで練習をするときは、少し大変で、つかれるときもあるけれど、とても楽しいです。また、中央公民館や、コミセンで発表させてもらったこともいいけいけんになりました。わたしは、文化箏を五年生になっても続けたいし、いろいろな曲をひきたいです。

(尺八) 上郷小 1年 さいとう こうのすけ (芸文だより一部掲載)

しゃくはちをやってみて、音を出すのがむずかしかったです。だけど、「ふくところにくちをちかづけるといいよ。」とおしえてもらってふいたらふけました。しゃくはちがおもしろくて、二年になってもやりたいです。

(尺八) 上郷小 2年 せいの まゆ

わたしは、きょ年につづいて二回目の尺八教室でした。さいしょは、ひさしぶりにしてふけなくなっていました。今年は三回やってわたしは二回目にふけました。きょくは、ふけないけど、どこもおさえないではふけました。わたしはらい年もならうので、らい年はきょくがふけるようになりたいです。今年は、三回で少なかったので、らい年はもっとやりたいです。六年生になってもずっとやりたいです。むずかしくて楽しかったです。

(茶道) 上郷小 2年 はずま そうすけ

わがしがおいしそうなので、さんかしてみました。まぜるやつの名前を知りたくてしらべた

ら茶せんと言う名前でした。茶せんではじめののが大へんだったけど、楽しくできました。正気で足がしびれていたかったです。お茶は、ちょっぴりあまくにがみもあり、まっ茶のあじはこんなかんじなのかと思いました。おかしもお茶もおいしくいただきました。

(茶道) 上郷小 4年 本間 華菜

私は、茶道教室をはじめてやってみて、とても楽しいと思いました。おかしは、こはくどのような外がカリっとして中がゼリーみたいな食感でした。あまくてよくお茶に合いました。お茶は自分で抹茶の粉をうつわに入れてかきまぜました。少し大変でしたが楽しかったです。茶道は、いろいろな作法があってその通りにすると大人になったような気がしました。

【豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室】

(ステンドグラス) 豊浦小 4年 加藤 ゆま

私は、2回目のステンドグラス教室でした。色を合わせたり、よりきれいにするために細かいところまではめたりする事をいしきました。大きさを選ぶのがとてもむずかしかったけど楽しかったのでまたやりたいです。

(文化箏) 豊浦小 5年 阿部 笑満

最初は、箏の弦をつめではじめてきれいな音を出すのがむずかしかったけど、練習していくときれいな音になっていき、箏をひくのも楽しくなってきました。箏は正座してひくのか、と思いました。「ほたる」の曲を箏でひいて左手の小指を使って弦をはじいたら、指がいたかったです。箏をひくことはめったにないのでいい体験になりました。

(茶道) 豊浦小 2年 白幡 楓人 (芸文だより一部掲載)

ぼくは、さどう教室にさんかしました。一番たのしかったことは、お茶をたてることです。お茶をまぜるときは、ただかきまぜるのではなく、手首をつかってあわせたいにひろがるまでお茶をたてました。きれいなあわがひろがって自分では、上手にできたと思ったけれど、お茶はにがかったです。またさんかしたいです。

(華道) 豊浦小 5年 和田 結夏

私は何回か華道教室に参加しましたが、今回は生け花ではなく、リースを作りました。あじさいの葉やりんごの置物を使ってクリスマスリースを作りました。銀のパーティーモールを使い、きれいな感じにしたり、りんごをボンドで固定したりするのに苦戦しました。でも無事にとてもかわいいリースを作ることができました。リースなら家でも作る事ができるので作ってみたいと思いました。とても楽しかったです。

【豊浦地区(由良)放課後子ども教室】

(和紙ちぎり絵) 豊浦小 4年 白幡 凜桜

私は、ちぎり絵を体験しました。ちぎり絵はふつうの紙でなく和紙を使うのが、少しびっくりしました。ちぎるのがとてもむずかしかったですが、先生がアドバイスをくれたので上手にできました。とても楽しかったです。みんなのちぎり絵もとても上手できれいでした。また機会があればよろしくおねがいします。

(文化箏) 豊浦小 4年 佐藤 莉合

私は、放課後子ども教室で文化箏を練習しました。文化箏では、うみ、ほたる、かごめかごめ、夕やけこやけ 4つの曲を練習しました。どの曲もむずかしくて、最初はあまり出来なかったけど、練習していくたびに、しっかりひけるようになりました。一月は、新春のつどいに参加させていただきました。一年の始まりのつどいで、箏をえんそうさせてもらい、この一年みんなが幸せにすごせるようにと願いながら心をこめてえんそうできたので、よかったです。

(ミュージカル) 豊浦小 4年 佐藤 青

私は、ミュージカル教室を体験して、おどりはきれいなぬのを使うので、さらにむずかしくなりますが、うつくしいおどりにするために一つ一つていねいにおどりました。歌では、きれいな声をだせるようにうら声とじ声をつかいわけて歌いました。本番では、きんちょうしたけど、最後までやることができました。これまで2回ぐらいやっていて、やるたびにむずかしくてミュージカルはすごいなと思います。また参加したいです。

(フラダンス) 豊浦小 3年 佐藤 恵麻 (芸文だより一部掲載)

フラダンスはとても楽しい活動です。すこしはつかれるけど運動にもなるしとても大すきです。みんなとおどることもとてもとてもすきです。おどるときにみんなにあわせるのがむずかしいけれど歌もとてもすてきでいい歌だと思います。

(茶道) 豊浦小 6年 濱中 咲輝

私は、茶道を教えてくださいました。茶道で大切な事は気持ちだと思いました。お茶をたててくれた方への感謝の気持ちやお互いに敬う気持ちです。それは、言葉として表します。言葉にすることで伝わり、みんな気持ちの良い時間を過ごせるすてきな体験でした。この大切な事は日常でも生かせると思います。相手に気持ちを伝え、思いやる心を育む事は、豊かな生活を送るために必要なので、茶道で学んだ気持ちを大切にしていきたいです。

【湯野浜小学校放課後子ども教室】

(短歌) 湯野浜小 3年 佐藤 莉緒音 (第66回上野甚作賞奨励賞)

たんか教室は、はじめてでひょうしょうされるとは思わなかったけれど、うれしかったです。むずかしかったのは、たんかを作るのがたいへんでした。はずかしかったところは、発表することがはずかしかったです。

(造形) 湯野浜小 1年 佐々木 心春

わたしは、木をあなにさすのをがんばりました。木をおらないように、しんちょうに、がんばってあなにいれました。きれいですてきなさくひんをつくることはむずかしいことですが、わたしはきれいに、うつくしくすることを1ばんにかんがえたから、すごくきれいなさくひんをつくることができました。じぶんがきれいだという事はわかっていますが、みんなにも「すごいな」「きれいだな」とおもってもらえるように、きれいにうつくしくつくれるようにこころがけています。

(和紙ちぎり絵) 湯野浜小 3年 五十嵐 陽永 (芸文だより一部掲載)

二回目のちぎり絵だったけど、きんぎょははじめてやったけどむずかしかったです。どうゆうところがむずかしかったかというと、しっぽやひれのところがとくにむずかしかったです。あ

と、きんぎょの色は、おれんじとこんいろをつかいました。また、ちぎり絵があったときは、みかんのちぎり絵がいいです。それか、れもんか、ぶどうがいいです。また、ちぎり絵をやりたいです。またよろしくおねがいします。

(ステンドグラス) 湯野浜小 2年 今野 このみ

まずはじめに、むずかしかったことは、すきまにはいるガラスがみつからなかったことと、すきまにガラスがはまらなかったところです。つぎに、楽しかったことは、スキな色をえらぶのが楽しかったです。いちばん楽しかったのは友だちとやることです。りゆうは、二人で楽しむことがいちばんだからです。またステンドグラスをやりたいです。

(ステンドグラス) 湯野浜小 2年 すがわら すずか

ステンドグラスは、ただボードにガラスをはるだけかと思ったがちがいました。わたしは、アクアビーズのような集中するのがすきなので、ステンドグラスをやってみたらにっていたので、とても楽しくなってすきになりました。また、こんどもやりたいです。こんどは、もっとじょうすになってちょうせんしたいです。

(ステンドグラス) 湯野浜小 3年 丸山 夏久

ぼくは、ステンドグラスでアイスを作りました。のりをつけた後すぐガラスをつけるのがむずかしかったです。だけどなれたら、かんたんだったので楽しかったです。何色で作るか考えるのも楽しかったです。来年は、何を作ろうか今からなやんでいます。

(茶道) 湯野浜小 佐藤 悠叶

茶どうをたいけんして3つわかったことがあります。1つ目はお茶のおいしさです。のむまえはながそうだなと思っていました。2つ目はお茶をたてるのがたいへんなんだなと思いました。3つ目はお茶のながみをなくすためにおかしを食べるんだねと思いました。また来年もやりたいです。

(華道) 湯野浜小 2年 上野 えま

わたしが楽しかったのは、いけばなです。みんなできれいな花を作ったり、かわいい花を作ったりしてとても楽しかったです。家にかえって、ママから「じょうずにできたね」と言われました。かわいくできてすごうれしかったです。またやってみたいです。

【おおやま放課後子ども教室】

(短歌) 大山小 4年 木根 潤

短歌の先生がおいでになって、書き方を教えてくれました。わたしは学校で何度もやっているのでたくさん作りました。生活の中で体験していることを短歌にしました。英語や体そうのことです。先生からいろいろなことをほめてもらいました。短歌づくりに興味がわいて少し上手になったように思いました。私は短歌が好きです。みなさんも楽しんで作ってみませんか。

(茶道) 大山小 3年 大瀧 仁菜

わたしは初めて茶道をしました。まずおじぎの仕方を教えてもらいました。手の位置や体の角度です。いろいろなこだわりがあるからこそ行儀がよくなれると思いました。お茶の味は私にはまだ早かったです。おかしも食べました。とてもあまく、おいしくてもっと食べたかった

です。正座はいたかったけれど、良い体験ができてとても楽しかったです。来年もしたいです。

（華道）大山小 2年 田澤 想太郎（芸文だより一部掲載）

十二月に生け花をしました。花はスプレーカーネーション、コチア、シノブヒバの三種類で、緑と赤のクリスマスの色できれいでした。むずかしかったところはもう一度オアシスに生けなおしをすることでしたが、がんばって上手にできました。持ちかえってさっそくげんかんにかざりました。家の人からほめられて何日も楽しむことができました。

【西郷地区放課後子ども教室】

（絵画）西郷小 3年 阿部 ひかり（芸文だより一部掲載）

わたしは、はじめて油絵の具をつかって絵をかきました。さいしょはやり方がわからなくてふあんでしたが、だんだんおもしろくなりました。一番おもしろかったのは、シールの上から絵の具をぬったことです。シールをはがしたあとに、さいしょにぬったクレヨンが見えて、ぐるぐるのもようがきれいにできたのでよかったなと思いました。

（ステンドグラス）西郷小 5年 阿部 桜花

ステンドグラスを作るのははじめてでとても楽しみにしていた。先生が見せてくれたひまわりがとてもきれいだった。私は月と星の模様で作った。ちょうどよい大きさのガラスを探すのが難しかったけど、ぴったりのをみつけるととてもうれしかった。満足のいく作品ができてうれしかったので、またやりたいと思った。

（茶道）西郷小 5年 阿毛 瑤樹

茶道教室には毎年参加していて、なつめや茶せんの名前も覚えていた。お茶は苦かったけれど、先生が、泡をきれいに立てると苦くない美味しいお茶になるよ、と教えてくれた。泡をきれいに立てるのは難しかったけど、先生に教わったとおりに手首をがんばって動かすと上手にできておいしいお茶が立てられて、うれしかった。

【ねずがせき放課後子ども教室】

（和紙ちぎり絵）鼠ヶ関小 2年 さとう ゆな

ちぎり絵教室がありました。わたしは、金魚とはすの葉を作りました。よくできたところは、金魚のひれの赤いところや葉っぱのみどり色のかんじです。むずかしかったところは紙を手でちぎるところです。丸くしたり三角の形にするところがうまくできませんでした。さいごにみんなの作品を見ていたら、すいさんの金魚が、お話しているみたいで気に入りました。今度はちょうちょやお花を作ってみたいです。

（合唱）鼠ヶ関小 5年 長畑 志子（芸文だより一部掲載）

ねずっ子で音楽教室が二回ありました。私は音楽が好きなので二回とも参加しました。先生は、めちやくちゃピアノが上手くてびっくりしました。みんなと一緒に色々な歌を歌いました。特に、トトロの散歩やドレミの歌を体を動かして歌ったことや、私の好きな今月の歌「語り合おう」を歌ったことが楽しかったです。それから、みんなで息を合わせて歌うことが難しかったです。はじめは、なかなかそろわなかったけど、何度か練習するうちにそろえるようになりました。この次もそろって歌えるよう頑張りたいです。

(茶道) 鼠ヶ関小 6年 佐藤 藍日

僕が茶道を体験して思ったことが二つあります。一つ目は、日本の文化をより感じたことです。茶道はなかなか体験する機会がなく、あまり知られていないと思います。その中で子どもが、しかも放課後子ども教室で体験できたことはとても新鮮でした。

二つ目は、心を正すことができることです。学校ではいろいろなことを考え、頭が学習の事で一杯です。茶道教室では、とても心が落ち着いて、良い時間が過ごせます。

この体験から、日本の歴史など、現代社会に生かせることがたくさんあったので、ここで学んだことを生かしていきたいです。

(華道) 鼠ヶ関小 1年 さとう あみ

いけばなきょうしつでなにをするのかたのしみでした。はじめに、つくえの上に、小さな入れものと、キラキラシールとお花がありました。たのしそうだなとおもいました。つぎに、入れものにシールをはりました。そして、水を入れてお花をかざりました。ハサミで、はなのくきをきるのがむずかしかったです。うちにかえってかざったらおうちの人から「すごいねー」と、ほめられてうれしかったです。わたしは、お花がすきなので、またいけばなをやってみたいです。

(2) 講師・指導者の感想

【短歌】

- ・各学年に合った短歌を 5・7・5・7・7 の札を作り、それを児童に一首にまとめて貰うことにしました (クイズ式)。各自、色々な組み合わせを披露。あーでもない、こうでもないが教室が沸き上がり、とても楽しい雰囲気になった教室となりました。その後、全児童が短歌を作ってくれ一人で三首も作る児童もいました。上手な歌が何首もみられました。
- ・児童に短歌づくりの楽しさをもっともっと広げていきたいなと思っております。短歌教室を年2回位にして多くの放課後子ども教室が開けたらと心より願っております。情操教育の一環だと思います。

【絵画】

- ・学年毎に内容を分けて、使用するえのぐも異なる物を使っての制作だった。地域の担当者にも手伝ってもらって、せまい部屋の中で、大勢の子供たちに作業させるのはなかなか大変であったが、1~4年まではあつかいやすいアクリルえのぐにしたため、よかった。5・6年には、はじめての油えのぐをしようということで描いた。その後が大変であったが、いいものできたと思う。
- ・全体で大きな紙に描くというワークショップの形式で制作するのも楽しいかなと思った。
- ・油えのぐを使うことにこだわらなくてもいいのではないかと、今にして思わせられる。

【和紙ちぎり絵】

- ・構図、和紙の色など自由に選ばせたので、最初、とまどいも見られたが、それぞれ考えながら楽しそうに制作していた。
- ・出来上がった作品は同じ作品のないことに、満足そうでした。
- ・和紙ちぎり絵を楽しんで下さる様子、待っていて下さる様子が伝わり、大変うれしく感謝の気持ちでおります。
- ・お世話下さるスタッフの方ご苦労様です。

【ステンドグラス】

- ・初めての体験に緊張しながらとても楽しそうに制作していました。

【文化箏】

- ・低学年の児童は最初、とにかく正座に苦しんでいました。少しずつ正座に慣れてくると、楽譜にも慣れて、1音でも追加して覚えてくれていっている様子が見えました。演奏の場では上手に演奏している高学年を見習い、上手に「演じ」ていました。
- ・誰でも楽器を習い、聴いてもらえる機会があると、練習にも気合が入ります。(教える側も同じですが笑)今年度もたくさんの演奏依頼を頂戴できたことは喜ばしく思っております。

【尺八】

- ・練習の合間に1,2年生が学校で習っている唱歌「ぞうさん」「ゆうやけこやけ」など合唱。2年生の児童が「ぞうさん」の楽譜で孔の開閉図を見て、音出しに挑戦しており、すごい進歩であると感じました。
- ・受講児童全員が音を出せるようになりました。音を出せる前は、少々騒がしかったが、音が出るようになると、背筋も伸び、姿勢も良くなり、一生懸命練習に取り組めるようになりました。子ども同士で、音の出し方を教え合うこともしており、微笑ましい姿も見られました。コロナ渦前に小学5,6年生を対象に、小学校に出向いて邦楽教室を幾度となく行いましたが、2時間授業で音の出せる児童は半分程度です。3回の教室で参加者全員が音を出せたことは、大きな収穫です。
- ・昨年に引き続いてお世話になりました。何時も同じ事を言っていますが、尺八は難しい楽器のようです。継続して参加されるようであれば、曲の吹奏も可能になると思われれます。
- ・実施可能かどうかわかりませんが、興味がある児童がいるようであれば、こども文化クラブ事業とは別に、児童に負担の掛からない程度で、継続してやれる方向を見出しても良いかな?とも考えます。(文化箏を参考にして)

【合唱】

- ・いろいろな曲を歌いました。小学校の月の歌も取り上げました。
- ・素直で良い子ども達でした。職員の皆さん、さらに小学校の先生方も参加してくれました。雰囲気の良い活動ができました。
- ・少し遠かったです。

【フラダンス】

- ・今年度は2回のみでしたが、子ども達は元気に楽しく取り組みました。みんなもよく知っているリロ&スティッチの曲で、少ない時間で覚えてくれました。毎年、子ども達の集中力、吸収力に驚かされます!
- ・いつもお声かけいただき、地域の子供達にハワイ文化とフラを身近に感じてもらえる機会となり、大変嬉しく、感謝致します。これからもフラの魅力を伝えられる様努力して参ります。宜しくお願い致します。

【ミュージカル】

- ・参加した子ども達の大半が、年齢問わず明るく元気な様子だった。活動時間中、ほとんどの子ども達が集中して取り組んでいた。
- ・間接的に頂く依頼のため、関わり方が見えない場面もあるが、「こども文化クラブ事業」の取り組みには賛同しております。
- ・1年から6年まで成長に違いが大きい為、合同指導は大変ですが、子供達は元気よく、明るく楽しんでくれました。中でも前年も体験した子供達は意欲的でした。タクト公演に参加した子供達は歌、ダンスをしっかり表現してくれ、大きな拍手を受け、とても輝いてみえました。出演体験感想文からわかるように、三瀬の文化箏こども文化クラブと一緒に出来たことも楽しい思い出になったようで、ドキドキしながらも貴重な経験は子供達の宝物！
- ・いつも三瀬・由良地区の熱心な活動への応援にはびっくりです。父兄のサポートもなければタクト出演も叶いませんでした。文化芸術に触れ親しむ機会、他の地域にも広まって欲しいです。学校単位で鑑賞する音楽会や演劇が現代では無くなり、ライブでの感動を味わう経験が少なく残念に思います。

【茶道】

- ・事前にスタッフがきちんと話のきけるように子ども達を落ち着かせておいて欲しい。
- ・正座できない、話が聞けないなどがあり、こちら側の工夫が必要だと思った。
- ・とても真面目に集中して活動し、上手にお茶を点ててくれた。
- ・子どもの笑顔を見るのが一番と思っています。
- ・子どもの掛物を考えると、今年度は、干支の蛇の色紙を掛けました。季節により道具等を工夫しなければなりませんので、大変な時期もあります。事業の中にお茶を取り入れて頂き、子ども達に会うのをとっても楽しみにしています。良い思い出になりますので是非今後も続けていただければありがたいです。
- ・実施地区での他の活動を一度見学できればと思っていますのでよろしくお願い致します。
- ・上手にお茶を点て喜んでいました。喜びが長く続ける気持ちになる様子が大切だと思います。
- ・今まではコロナ禍で人数制限の中実施してきましたが、子ども達の人数減で残念に思いますが、元気で何に対してもまじめに取り組んでくれました。
- ・同じ地域に住む子ども達、元気に成長してもらいたい。この事業は大変良い事と思っています。
- ・冬期間はなるべく教室をいれないでもらえたらありがたい。
- ・熱心に話を聞いてくれ、実際にお茶を点てて、とても上手に出来ていました。質問もとても良い質問で、こちらとしても少しとまどって考えさせられる事があり、子どもの感性に驚きました。2回参加してくれた子もおり、喜んでくれた様で何よりでした。
- ・アシスタントの先生たちとまた来年もやりたい、楽しかったですネと話しました。最近ではイスの生活が多く、正座が苦手な人がいます。子供達も長く座っているのが大変そうでした。イスでのやり方もありますが、この機会に正座も体験してもらって、少し休みながらなど工夫してやりたいと思っています。

【華道】

- ・中央公民館でのいけばな教室では、子供達は初めての体験でしたので、熱心に講師の説明を聞き、又スタッフのアドバイスを受けながら、お花を生けておりました。6年生の2人は独自の感性も入れ、やはり高学年だと思いました。父兄の方からは、また続けられたらとの感想でした。
- ・ねずがせき放課後子ども教室は、昨年も草月流のいけばな教室を受けていたので、内容的な違いはあると思いますが、慣れている様子であつという間に生け終わりました。16名の多人数でしたが、指導員の方々の協力もあり楽しく終える事が出来ました。
- ・子供達に伝統ある“いけばな”でお花に接する機会があるのは大変有意義なことだと思いますので継続することが大事だと思います。
- ・最初に1作品いける工程を見せながら説明して、その後に参加者に自由にいけていただいた手が進まない子には少しかだけ手助けをして、なるべく「いける」楽しさを体験していただくことに配慮した。自由な発想で作品づくりを楽しんでいる様感じた。子ども達からも楽しかったと感想があった。
- ・子ども達と触れ合う機会をいただいて大変楽しい時間となった。講師側も大変いい体験ができたと思う。今後もこの様な機会があれば参加させていただきたい。
- ・興味を持って楽しそうに集中していけてくれます。子供達の発想やアイデアにはいつも驚きと感動を覚えます。それぞれの個性が出て、同じ材料を使ってもみんな違うものができ、自分のいけばなになっていました。早くどんどん進める子、いろいろ悩んだり考えたりする子さままで、こちらで見ていると色々な発見があり勉強になります。スタッフの方々から準備等助けていただきありがたかったです。
- ・12月の冬期は来年からは避けて欲しいかと思いましたが。(今年は雪が降らなかったのが良かったです)
- ・こども文化クラブ事業に参加させていただき、こちらも大変勉強になっております。これからもよろしくお願い致します。

(3) 子ども教室関係者の声

- ・今年は4分野の教室をお願いしました。ステンドグラスは初めてでしたが、参加者も多くみんな賑やかに出来ました。細かい作業があり、なかなかうまくできない子もいましたが、高学年が低学年の面倒を見る様子が見られ、良かったと思います。茶道も作法の手順を詳しく教えていただき、みんな真剣に聞き入っていました。尺八と文化箏は経験者も多く、落ち着いて取り組んでいました。
- ・平成28年度よりこの事業に参加させていただいています。当初は芸術文化に触れること自体みなさん初めてのことで、馴染むまでなかなか大変でしたが、ここ数年はすっかり定着し、みなさん落ち着いて楽しみながら取り組んでいます。文化箏は発表の場も何度も経験させていただき、子どもたちの自信につながっているようです。
- ・予算の関係で難しいとは思いますが、各教室の実施回数ももう少し多いとありがたいと思います。特に楽器などは音を出すまでが難しい場合もあり、回を重ねることで音が出せて、さらに面白みがつくのでは？と感じます。

- ・茶道、華道教室に子ども達と参加しました。指導していただいている講師の方が、子どもたちにもわかりやすく説明されて自分も大変勉強になりました。
 - ・男子、女子、学年でも違いはありましたが、遊びだけではなく、文化活動の参加は大変良い取り組みだと思います。子どもたちのいつもと違う顔が見られました。
 - ・学校とはまた違うコミュニケーションがとれたと思いました。
 - ・地域との交流はこれから大事だと思います。そのような機会をたくさん増やしてほしいと思います。
-
- ・子どもたちが楽しみにしていた「和紙ちぎり絵」と久しぶりにやった「茶道」も記憶に残る体験が出来ました。
 - ・教室を通して芸術祭や先生方の会に毎年参加させていただき、舞台に立つ楽しさと自信を感じているようです。子どもたちから「他の教室も体験したい」と話がありました。
 - ・子ども教室の登録者人数が減り、各自のスケジュールも忙しく、参加人数が少なくなり、先生方に申し訳なく思う時があります。
-
- ・たくさんの創造的な教室に参加させていただきありがとうございました。子ども達にも好評で、いろいろな刺激を受けたようで、ありがたかったです。
 - ・子ども達が騒々しい場面がありましたが、それも子ども達の意欲のあらわれと思っておりますが、教室の講師のいるところで、おさえた方がよかったのかどうか今も分かりません。
-
- ・短歌教室では上野甚作展に応募して奨励賞をいただくことができ、子どもたちの励みになりました。華道教室では30人という人数にもかかわらず、全員が楽しんで活動することができました。自宅に持ち帰り家族からも喜ばれました。工作ばさみでは切れない花材もあり、難しいところもありました。茶道教室では真面目に活動しようとする姿が随所に見られて良かったです。正座や抹茶の味に苦手と感じるところも少しずつ克服していました。4年生のお運びのお手伝いは責任感を持って活動しました。
 - ・毎年、プロの方から本物を指導していただくことができ、とてもありがたいです。家庭では経験できない活動で保護者の方たちからも感謝されています。
 - ・どちらの先生たちも子どもたちにわかりやすく指導していただき良かったです。
 - ・活動が荘内日報に掲載、短歌展で入賞と子どもたちの励みとなりました。子どもたちのためにこの活動があることに感謝しております。継続していただきたいです。
-
- ・毎年実施させてもらっており、子どもたちも保護者もスタッフも楽しみにしている。長年にわたって続けていることで、地域の大切な文化活動を受け継いでいっているという自覚が一層強まっていると感じている。
 - ・普段騒がしい子どもたちも、専門家の先生方に敬意を持ち真剣に話を聞いている。本物の世界を憧れ見る体験そのものが、子どもたちの人生を豊かにすると思う。毎年参加している子どもたちは上達も目に見えるので、成長を感じられる。
 - ・人数の多い教室であるが、内容によって学年を分けて参加人数を調整してスムーズに実施できた。先生方の準備がとてみたいへんと思うので、できる限り協力したく思う。